千西一週 号外

発行２０１８年８月２１日（火）

上田西高校新聞委員会
編集局長　下形亮人

文＝下形亮人・下谷梓・宮島純夏
写真提供＝軟式野球部

軟式野球部、2年ぶり全国切符

全国高等学校軟式野球選手権北信越大会

7月29日（日）に第63回全国高等学校軟式野球選手権北信越大会決勝戦が行われた。長野県大会を制した上田西は2年ぶりの全国大会出場を目指し、新潟商業高校と対戦。試合は上田西が先制しリードするも、粘る新潟商業に追いつかれる展開となったが、8回裏に2点を追加した上田西がそのまま逃げ切り見事北信越大会優勝を果たし、全国大会への切符を手に入れた。上田西軟式野球部の初戦は8月24日（金）12時より姫路ウイング球場で北部九州地区代表の福岡県筑陽学園高校と。

新潟商業	0	0	3	0	2	0	0	0	0	5
上田西	1	4	0	0	0	0	0	2	×	7

優勝を決め、優勝旗を先頭に行進する軟式野球部の選手達　　写真提供＝軟式野球部

激しい攻防制す

上田西高校　軟式野球部の北信越決勝は新潟商業高校との熱い戦いであった。新潟商業が先攻で始まったこの試合、1回の裏で早くも上田西は櫻井が放ったセンター前適時打により先制点をもぎ取る。攻撃は鋭く守備は固い上田西は2回表も相手チームに得点を許すことはなかった。そして2回裏、手塚、木場田、丸山が作ったチャンスで、1番両角がレフト前適時打を放ち上田西2得点目を勝ち取る。そこからも勢いはやまず、5対0と順調な滑り出しであった。

しかし3回の表、連続適時打を打たれ新潟商業に3点を許してしまうと5回表にも2点の追加点を与えてしまい同点まで追いつかれてしまう。しかし上田西の粘り強いプレーとチームの団結力が発揮され、試合終盤8回の裏で満塁のチャンスを作ると、迎えるバッターは1番両角。両角は見事期待に応えるレフト前適時打を放ち、ついに待望の追加点を得た上田西。さらにその後2番宮原が適時打を放ち、リードを2点に広げた。続く9回の表を守りきった上田西高校軟式野球部は2年ぶりの全国出場を決めた。（下谷梓、宮島純夏、下形亮人）

軟式野球部北信越大会優勝の瞬間
写真提供＝軟式野球部